



石狩川と空知川 (第 2G)

Rotary International District 2510

GOVERNOR'S

Monthly Letter

2022-2023 ガバナー月信

2

2023 Feb

No.8

**END
POLIO
NOW**



国際ロータリー第 2510 地区

2022-2023 年度 ガバナー 石丸 修太郎

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ

「イマジン ロータリー」



国際ロータリー第2510地区 2022-2023年度テーマ

「ロータリーに想いを馳せる」 ～明日のロータリーに夢を込めて～



【地区目標】

- ① クラブの将来像を打ち立てる
- ② より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
- ③ 青少年への支援を発展・充実させる
- ④ ICTも利用して交流の輪を広げる

CONTENTS

●ガバナーメッセージ-----	1	●国際大会案内/日本人親善朝食会開催ご案内-----	13
●平和フェローを求めて-----	3	●新入会員セミナー-----	17
●国際協議会報告-----	4	●RYLAセミナー-----	19
●ガバナー補佐会議を終えて-----	6	●ガバナー四方山話⑧-----	21
●札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブ認可祝賀会---	8	●ガバナー補佐自分を語る-----	22
●ロータリー財団からの通知-----	9	●新会員のご紹介/訃報-----	23
●ガバナーノミニー決定宣言-----	10	●月信委員会からのお知らせ-----	24
●米山奨学生紹介-----	11	●表紙の解説（第2グループ）-----	25



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎
(札幌西RC)

2023年の幕開けからひと月が経ち皆様どのようにお過ごしでしょうか？コロナ禍はいまだに収まりそうもなく、ウクライナにおける悲惨な戦争状態も終わりそうもなく、ウクライナ以外でも北朝鮮、イラン、ミャンマー、アフガニスタン等々社会体制の問題が無くなることは無いのでしょうか。

2月は平和構築と紛争予防の月間ですがロータリーの組織を持ってしても、紛争を無くすることは難しいことが痛感されますね。世界に7つある平和センターですが、そのひとつが国際基督教大に設置されたのは1999年です。2002年以降、この大学から毎年約10名のロータリー平和フェローを輩出していますが、世界の紛争に対してはあまりにも少ないような気がします。

ダボス会議では、ロシアを「ならずもの国家」と呼んでいましたが、戦争から生まれるプラスのものは何もないという、第2次大戦で学んだことは忘れ去られたのでしょうか。何も学んでいないというべきでしょうか。

ロータリーでは政治の話は禁句ではありますが、平和構築において政治を抜きには何の進展もありません。ロータリーでの体験を経た方が多く政治に関わってもらえることを願うのは私一人だけでしょうか。国と言う単位が何時まで存在するのか判りませんが、世界を見渡すと欧州においてEUという壮大な国家を超えた組織の試行が続いています。あの粘り強さはどこから来るのでしょうか。

第2次世界大戦からわずか6年後に発足した欧州石炭鉄鋼共同体が基礎となりその6年後には欧州経済共同体が設立されています。これらは2007年のリスボン条約ですべて解体されEUに移行するのですが、13年後に英国が離脱しました。しかし残った国々はいまだに加盟国間の調整に途方もない時間と労力が割かれているのを見ると、国家と言うものが無くなる日は来るのかしらとも思えてしまいます。

この記事を書いている間にもウクライナのガバナーから緊急に必要な発電機を取得するための資金提供のお願いのメールが届きました。真冬日の寒さを知る当地区の皆様においては、厳寒のなかで電気の無い生活が如何なものか想像は容易いと思います。

閑話休題 今年はやや穏やかな元旦でしたが、2日から気温が下がり流石に北海道の正月は寒いものだと感じた出来事がありました。我が家の1階は温水で床暖とパネルヒーターで暖房を採っているのですが何とその床暖用ボイラーが故障してしまい、正月休暇に入っているにも拘らず、建物のメンテナンスを頼んでいる方に連絡をすると5日まで業者さんも稼働しないとの事。冷たい床を耐え忍ぶこと4日間、6日に部品交換をして頂きボイラーが動き始めたときは、感激でした。

幸い給湯ボイラーは動いていましたので、風呂や台所は何とかなだったので、要は普段より多くの時間を布団の中で過ごした正月だったということでした。ウクライナで悲惨な生活を送られている人達が居ることを思えば、大したことは無いのですが年寄りには試練の時間でした。

この間、家での食事は温かな物ばかりで、付き合いで購入したおせちの重箱を空にした後は、食材は何でも鍋物と化し寒い部屋の中で湯気を上げる鍋がとても嬉しく卓上カセットコンロは大活躍でした。我が家の鍋物の多くはさっぱり系で、ポン酢で頂くものが多いのですが、お鍋を美味しくするコツは茹で汁にあります。すなわち昆布の出汁と日本酒を惜しみなく使うことでお肉も魚も野菜まですべて美味しく火が通り、一味でちょっと辛味を付けたポン酢で頂くと至高の喜びとなります。

話を地区活動に戻しますと、1月21日に現年度のガバナー補佐会議がありました。下の写真がその時のものです。



会議では、松浦ガバナーエレクトがオランダでの国際協議会からお帰りで、お疲れの中出席して頂き、お土産話も聞かせて頂きました。また、ガバナー補佐の皆様から担当されているクラブの現況報告や課題について報告され、また今後の地区の活動についての説明等がありました。でも最大のイベントは懇親会で、コロナ対策を取りながらも和気藹々とした懇親会が持てたことは、大変嬉しくつつい杯も空いてしまいました。

また、地区全体では会員数が伸びている話も明るい話題でした。各クラブの皆様がクラブ活動を楽しみ、そして仲間の輪を広げるということを実践して頂いていることに感謝しております。



平和フェローを求めて

国際ロータリー第2510地区 財団奨学金・平和フェロー委員会

副委員長 菅原 秀二
(札幌大通公園RC)

財団奨学金の中に、平和フェローシップという奨学金がある。「世界平和と開発の担い手となる人材を育てる」ための奨学金である。当地区でこの平和フェローシップの担当となって数年たったがまだ一人もこの奨学生を選出できていない。もっと正確に言えば、当地区は今まで多くの財団奨学生を輩出してきたが、平和フェローを送り出したことはないということである。財団奨学生の志望者の面接の際に、留学が終了した後、将来、国際機関で働き平和に貢献したいという声をしばしば聴くだけに、非常に残念である。

平和フェローを選出できない理由は、その申請要件にある。財団ハンドブックによると「関連分野における少なくとも5年間のフルタイムの職歴またはボランティアの経験」が必用だからである。この資格を満たすのが難しいのか、毎年、応募してもほとんど申請者はいない。しかし、志のある若者がいることは分かっているので、いずれこの奨学金の存在が知れ渡るにつれて、当地区で初めての平和フェローが出てくるものと楽観しているのであるが・・・。

ロータリーは、平和が「人」から始まると考えており、平和フェローシップを通じて、平和推進者となる人材を育て、その世界的ネットワークを築こうとしている。考えてみれば、このような人材が求められているのは、まさに今、現在なのである。いうまでもなく、第2次世界大戦以降で最大の軍事衝突が2022年2月24日にロシアとウクライナの間で勃発し、その出口はいまだ見えない状況にある。また、中国のような権威主義国家の台頭も著しいものがあり、台湾をめぐる何やらきな臭い状況もある。その一方で、アメリカ合衆国やヨーロッパ連合では、人々の分断が進み、民主主義の危機が叫ばれている。世界中いたるところで、平和の危機的兆候が見られるのである。

その際に重要なのは、やはり人と人との絆、すなわちネットワークである。私はロシアには旅行者として、中国には大学間の協定を求めて、それぞれ短期間ではあるが滞在したことがある。その際に、一般の人との交流において不快な思いはしたことがない。これは私の大学に来る留学生や研究者にも言えることであるし、米山奨学生においても奨学生との交流が奨学生期間終了後、さらに継続している場合があることもよく聞くところである。まさに人と人との交流である。ロシアや中国にもロータリークラブがあったらいいのにと夢想する所以である。

平和が「人」から始まるとするならば、そのような人材の育成はわれわれロータリアンの使命でもある。是非、当地区から平和フェローを出すために、有意な若者のご推薦を各クラブにお願いしたい。



国際協議会報告

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度 ガバナーエレクト **松浦 光紀**
(小樽南RC)

米国オーランドに於いて、1月8日から12日まで開催された国際協議会に参加してまいりました。日本との時差は14時間遅れており、昼と夜が逆転してしまい体調管理が大変でした。

日本を7日に出発するにあたり、国際ロータリーより、会議開始72時間前コロナウイルスのPCR検査を求められ、私は6日17時に東京の医療機関で証明を頂きアメリカの機関に送信させて頂き、約2時間後に検査の合格案内メールを頂き出発することが出来ました。一部の参加者はコロナウイルスの関係で東京への飛行機が欠航し、予定されていた日本を出発する飛行機に搭乗出来ず、別の飛行機を利用し遅れてアメリカに入国し、オーランドのホテルに到着された参加者がいました。

直接対面方式での国際協議会は2020年以来の久しぶりの事で、8日は登録他、歓迎レセプション、9日は、9時から1時間参加者と一緒に本会議でゴードン・マッキリー会長エレクトのテーマ「世界に希望を生みだそう」についてお聴き致しました。その後分科会、写真撮影、第2回本会議、分科会昼食をはさみ17時まで幾つかのグループに分かれ1コマ1時間半のガバナーエレクトの分科会を受けました。終了後歓迎レセプションが執り行われ、RI会長のお国であるバグパイプの演奏とスコットランドのディナーとダンス、が盛大に執り行われました。



毎日9時から17時、若しくは18時頃まで7回の本会議と9回の地区ガバナーエレクト分科会を受けさせて頂き、その後夕食が1時間半ほど続き散開となります。ホテルの部屋に入り、片付けや翌日の予習など目を通してると時差との関係で全く眠くなく、眠りつくのに苦労することもありました。

ガバナーエレクト分科会では日本から参加のガバナーエレクトの半数と諸外国のガバナーエレクトの方と一緒に分科会に参加するプログラムもありました。同時通訳が素晴らしく、夫々のお国の事情を伺い知る事が出来、大変有意義な時間となりました。



会議の中で、11日には、文化交流の夕べがありました。ホテル内に参加された国々のブースが設けられ、様々な工夫がなされ素晴らし交流の機会となりました。日本のブースでは、参加された奥様方のご協力により大変盛り上がりました。私のパートナーは他界しておりますので、私一人の参加となりましたが、ガバナーエレクトの奥様方は、すべての本会議のプログラムに参加することが出来ます。ロータリーへの理解を深めて頂きました。

無事日本に帰国することが出来ました。2023-24年度ガバナーとして、当地区クラブの皆さま方のお役に立てるよう準備を進めて参ります。クラブの益々のご発展、ご協力をお願い申し上げます。





ガバナー補佐会議を終えて

国際ローター第2510地区

地区代表幹事

河口 義憲
(札幌西RC)

会員の皆様、あけましておめでとうございます。

2023年1月21日に年度後半初のガバナー補佐会議が開催されました。

一昨年の9月から石丸ガバナー年度を実効性のある実り多い年度にするため、各地区からの代表12名のガバナー補佐の皆様にお集まりいただき、嵯峨地区研修リーダー（PG）はじめ、小山PG、福井PGの各講師陣と勉強を重ねてまいりました。

昨年7月からの年度のスタートで、石丸ガバナーの、慣習にとらわれない新しい感覚に沿う形で行事が進み、地区大会でも新しい試みも取り入れ、大会は新型コロナ禍のなか全員参加とは参りませんでしたが、大過なく進めることができました。またしばらく中止されていた懇親会も無事行われ、出席者の親睦を深めることができました。

前半のガバナー訪問等が出ていました問題、課題をこれから解決してゆくための年度後半となります。



各グループでのIMもこれから予定されています。長年の最重要課題であります会員減少問題では、小山司地区会員増強委員長（PG）からは、会員増強に関する厳しい現状の数字の説明がありました。クラブの存続には30名以上が必要といわれていますが、半数が未達で、存続の危機のクラブや、今後クラブ解散を決めたクラブもあるようです。女性会員数は伸びてきているようで7～8%で多少は国際化基準に近づいたでしょうか？（国際は25%程度）

しかし会員数の減少を止めるのは至難の業でもありますが喫緊の課題であることに異論はありません。

年度後半での行事として2月予定の国際ロータリースキー同好会の案内で、スキーでなくても、親睦のため夜の懇親パーティに参加しませんかというお誘いがありました。

会員増強に関し、嵯峨地区研修リーダー（PG）から4月の新会員合宿会員セミナーの意義、案内がありました。過去、会員退会のほとんどは3年未満会員が多いとの事実から、ロータリーをもっと知ってもらおう、体験してもらおうとの意図があり始まったセミナーだそうです。地道ですが大切なセミナーのようです。

また5月12日～14日の地区RYLAセミナーが齊藤朋博地区RYLA委員長からあり、若者を育てる意義が話され、そして福井PGからメルボルン国際大会（5月27日から）の説明がありました。現在20数名参加予定で、まだ予約可能だそうです。

そして6月の新チームへの引継ぎへと続いてまいります。次年度の松浦GEが1月8日から12日までアメリカのオーランドでの国際協議会に参加され、次年度への準備も始動し始めるようです。

今回のガバナー補佐会議に参加されたガバナー補佐の皆様には、これからの任期後半での新たな奮起をお願いし、有終の美を飾りたいところです。

会議後の懇親会は和やかに進み、最後にこの日が福井PGの誕生日との事で石丸Gからサプライズプレゼントがありました。おめでとうございます。





札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブ認可祝賀会



札幌西北ロータリークラブ会長

得能 宗洋

2022年8月9日付けでRIより認可を受け、11月1日に札幌西北ひまわり衛星ロータリークラブの認可祝賀会をホテル札幌ガーデンパレスにて開催させて頂きました。

祝賀会には石丸ガバナーをはじめ多くのパストガバナーの皆さま、ガバナー補佐、兄弟クラブの会長・幹事を、札幌西北ロータリークラブ会員と主役である札幌西北ひまわり衛星ロータリークラブの会員でお迎えさせて頂き、コロナ対策を講じながら明るく和やかに行われました。

実行委員長である渡邊会員の開会の挨拶で会がスタート。

石丸ガバナーより心温まるご祝辞を頂戴した後、ご参加いただきましたパストガバナーの皆さま全員からお祝いのお言葉とともにロータリアンとしての心構えなどについてお話を頂き、ロータリーに対する学びを深めることができました。

衛星クラブの内田議長がクラブの特徴などを紹介し、衛星クラブ会員一人ひとりがクラブの活動に対する思いや抱負をそれぞれ語り、会場から温かな激励の拍手を受けました。緊張した面持ちの中にもしっかりと決意を持ったスピーチで、今後の活動がとても楽しみになりました。

各テーブルで活発な意見交換や交流があり、大変楽しく充実したひとときでしたが、衛星クラブの誕生を改めて実感し、我々札幌西北ロータリークラブ会員一同、身が引き締まる思いを抱いた時間でもあったと思います。

最後にコロナ対策として手と手をつながない「エアー手に手つないで」で皆さまと温かな心をつなぎ合わせ、無事閉会となりました。

ご参加頂きました来賓の皆さま、札幌西北RCと衛星クラブの会員の方々、そして認可設立に関わって頂きました全ての方に心からお礼を申し上げご報告とさせて頂きます。

本当にありがとうございます。

感謝



ロータリー財団からの通知（補助金に関する）

クリスチャン・ペペラ
資金管理担当部マネージャー
Rotary International

第2510地区

地区ガバナー、石丸 修太郎 様

平素より大変お世話になっております。

ロータリー財団による補助金の報告要件の遵守状況についてお知らせいたします。ロータリー財団は、各地区の補助金報告の遵守状況を四半期ごとに記録しております。

2023年1月の分析時点で、第2510地区および地区内クラブが提唱する補助金の報告遵守率は **100%** となっております。管理委員会は、資金管理の指針が遵守されるよう、地区リーダーの皆さまからの協力を求めています。当方では、この遵守率を維持するためのご尽力に感謝するとともに、地区と地区内クラブが引き続き高い遵守率を維持していただけますようお願いいたします。

分析が行われた時点で、第2510地区には、財団からの補助金が合計で**5件**あり、そのうち**0件**が未報告となっております。すべての補助金のリストを以下からご覧ください。

財団により報告書が受理されてから18カ月以上が過ぎている全補助金について、報告を再度お願いする書簡を、代表連絡担当者に近日中に送付する予定です。貴地区の補助金に関わる書簡を送る際には、地区ガバナーにも同時送信いたします。

報告の遵守率を達成するため、地区リーダーが未報告の補助金の代表者と協力するようお願いいたします。各未報告の補助金の代表連絡担当者の情報は、以下の表に記載されています。報告書を完了するために必要なものについてご質問がある場合は、補助金を担当する職員にご連絡ください。

管理委員会は、資金管理の指針が世界中で守られるよう、地区リーダーの皆さまによるご指導をお願いするとともに、ご尽力に感謝しています。

ご理解とご協力を何卒お願いいたします。

補助金	提唱者	報告書の 期日	未提出の 報告書	ロータリー財団補助金 担当職員の E メール	実施国側 代表連絡 担当者氏名	実施国側代表連絡 担当者 E メール	援助国側 代表連絡 担当者氏名	援助国側 代表連絡担当者 E メール
DG2336 026	2510	02-Aug- 2023	No	Ayano.Mochizuki @rotary.org	Shigetoshi Matsubara	s-matsu @ops.dti.ne.jp		
GG2099 881	2510		No	Cecelia.Walter @rotary.org	Colin Gershon	Cmg @gershonlaw.com	Chikako Demura	chikakodemura @gmail.com
GG2120 573	2510	27-Apr- 2023	No	Cecelia.Walter @rotary.org	David Barton	d.barton308 @yahoo.com	Chikako Demura	chikakodemura @gmail.com
GG2123 993	2510	27-Apr- 2023	No	Cecelia.Walter @rotary.org	Ann Kirby	ann.kirby @commonmoves.com	Chikako Demura	chikakodemura @gmail.com
GG2235 740	2510	11-Aug- 2023	No	Cecelia.Walter @rotary.org	Mike Bell	m220bell @btinternet.com	Chikako Demura	chikakodemura @gmail.com



ガバナーノミニー決定宣言

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー **石丸 修太郎**
(札幌西RC)

2025-2026年度国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より玉井清治君（函館亀田RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第12条第2節 [12.020.ガバナー選出手続] に基づき、玉井清治君を2025-2026年度第2510地区ガバナーノミニーとすることを決定し、ここに宣言します。

【2025-2026年度ガバナーノミニー】

たまい きよはる
 会員名 **玉井 清治**（函館亀田ロータリークラブ）
 生年月日 1964年3月31日（58歳）
 職業分類 旅行業
 経 歴 トラベルメイク(株) 代表取締役
 北海道立大野農業高等学校卒業
 1982年 海上幕僚監部付 第7期一般海曹候補学生
 1986年 株式会社日東ライフ入社
 1993年 北海道スーパートラベル株式会社入社
 2000年 トラベルメイク設立 現在に至る
 2020年 函館八幡宮 氏子総代 現在に至る



【ロータリー歴】

函館亀田ロータリークラブ
 2000年8月1日 函館亀田ロータリークラブ入会
 2005-06年度 クラブ幹事
 2010-11年度 クラブ会長

2510地区役員歴

2016-18年度 職業奉仕・基本理念委員長
 2018-19年度 職業奉仕委員長
 2020-22年度 職業奉仕委員長
 2022-23年度 第10グループ、ガバナー補佐

【その他】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（3回）

米山奨学生紹介

「研究開発で社会に貢献」

2022-23年度米山奨学生

那日蘇

北海道大学・札幌南RC

1. 自己紹介

北海道大学農学院、博士課程三年生の那日蘇と申します。札幌南ロータリークラブにお世話になっております。私は中国内モンゴル自治区通遼市生まれです。家族は主に牛と羊を飼っているため、高校卒業までは、放牧の手伝いをよくしていました。大学は実家より1200 km離れたフフホト市（内モンゴル自治区の政府所在地）の農業大学に入学し、農業機械工学を専攻しました。昔から内モンゴルでは留学先に日本を選ぶ人が多く、その理由として、安全で国民の礼儀が正しく、優れた学術環境を有していること。そして、モンゴル語が日本語と文法的に似ている部分が多いため、比較的勉強しやすい事などが挙げられています。私は大学卒業後に来日し、まず東京の日本語学校で日本語を勉強しました。その後、北海道大学の農学院に入学し、現在に至ります。



図1 北大祭—北海道札幌市(2017年6月)

2. 研究内容

自然と調和して暮らす遊牧民は、自然の恵みを求め、家畜の群れを連れて移動し、自然環境や家畜と密接に関わり合いながら生活を送っています。そのため、自然からの豊かな恵みを得ると共に、自然に対して高い意識を有しています。北海道大学に入学後は、農業系廃棄物（リグノセルロースバイオマス）のエネルギー化に関する研究を始めました。具体的には、トウモロコシ茎葉を原料としたメタン発酵システムの開発について、原料の前処理に関する研究を行っております。大学の専攻は農業機械学だったため、現在の研究は私にとって新しい分野でしたが、研究グループの研究テーマに関わる論文の精読から始め、研究に必要とする基礎知識を学習し、それから、学会などに積極的に参加したことに伴い、修士卒業までに国際誌への論文掲載の実績を残しました。博士課程入学後、国内や国際会議での口頭発表などにより、自己を磨いています。



図1 トウモロコシ畑—北大農場(2018年9月)

3. 今後の抱負

私は就職活動を始めるとき、やりがいや社会貢献度を実感できるような民間企業に入りたいと考えていました。そして、素材メーカー、グローバル展開と専門との関連性を軸に企業研究を始めました。企業研究をしている中、巴川製紙所という会社と出会い、会社の歴史、グローバル展開やこれからのマーケティング戦略などに惹かれ、エントリーをしました。その後、会社説明会や面談などを通じて、石油由来樹脂の使用量を低減し、CO2削減に貢献する環境に優しい製品の開発に取り組んでいる姿に魅力を感じ、第一志望にしました。選考は厳しかったのですが、喜ばしい結果を得ることができました。希望職種の通り、来年4月から研究開発に携わる予定です。

キャリアプランに関しては、まず研究開発職に就き、経験を積み上げたいです。将来的には、専門知識と語学力を結びつけて、技術営業になり、日中両国そして世界との架け橋になるよう、努力して参ります。

2022-23年度米山奨学生

Malva Clara Dahlqvist

北海道大学・新札幌RC

「出会いと自己成長」

はじめまして。スウェーデン出身の北海道大学現代日本学プログラム4年のマルバクララ ダークィストと申します。日本での暮らしは今年でもう5年目になりました。初めて日本に来たのは、高校2年生の時でした。母国のスウェーデンの高校で、仲の良い同級生が全員留学に行くことになったのがきっかけでした。留学先を選ぶ時に、なじみのあるヨーロッパの国や、言葉が話せる英語圏にはしたくありませんでした。その理由は、チャレンジするのが、自分の成長につながるからだという私が大切にしていた価値観でした。



日本にきた当初は、日本語は一切話せず、正直なところ日本のこともあまり詳しくありませんでした。自分の中に日本のイメージがあまりはっきりしていなかったからこそ、高校2年生の時の留学はとても大変でした。言葉も話せなくて、苦労しました。しかし、そのおかげで確かに目標通りに成長ができました。理解できてない文化に接し、自分の中の偏見や思い込みに気づかされ、世界観が一気に広がりました。

そこからスウェーデンへ戻り、高校卒業後のことを考えるようになりました。当時は自分の中に夢と言えるものはありませんでした。しかし、成長し、もっといい人になりたいという意思は強くありました。それに加え、高校生の時の交換留学の経験から自己成長ともう一つもっと大事な価値観が生まれました。それが、異文化に接することにより、人間同士の理解を深めることです。

進学先が決まり、北海道大学に入学しました。そこで、ロータリーのことを初めて知りました。世界平和という目標の元に活動をしていると聞いた時、正直なところびっくりしました。世界平和を耳にすると、あまりにも大きすぎる目標に思えました。驚きましたが、留学生を支えることは、世界平和に近づくことは確かだと思います。異文化に飛び込むことで、誰でも辛い思いをたくさんします。それこそ、米山梅吉氏も、アメリカで差別と向き合い、嫌な思いをされたでしょう。異文化に接し、嫌な思いをしてしまうにも関わらず、他者のいいところにも気付かされ、縁が生まれます。私が考えたその理由が、異なるバックグラウンドの人に出会い、共通の人間性を感じるからです。いいところも、嫌なところも、どれも人間らしさ。それを理解するのが、平和のタネでしょう。その活動を支えているロータリーの考えに心より感謝しております。

私は今大学の卒業を迎えるところです。この大学4年間で、アルバイトや日本語能力試験の合格など、大学生活での目標をたくさん達成してきました。その一方で、コロナもあり、思い通りできなかったことも多々ありました。ここからは、更なる挑戦を試す自分と向き合いたいと考えております。今年の4月、東京にあるアマゾンの本社に入社することが決まりました。また新たな場所で、出会いと成長を大切に、世界平和という目標を忘れずに頑張っていきます。



この留学を豊かにして下さったロータリーの皆様、ありがとうございます。

2023年メルボルン国際大会のご案内（第一報）



地区RI国際大会推進委員会

委員長

福井 敬悟

(札幌手稲RC・PG)

2023年国際大会は、5月27日（土）～31日（水）にかけて、オーストラリア・メルボルンにて開催されます。メルボルンはオーストラリア南東部の海岸沿いにあるビクトリア州の州都で、「エコノミスト」誌の「世界で最も暮らしやすい都市」で1位を獲得しています。

第一報として、メルボルン・シドニー7日間のコースをご用意致しましたのでご案内いたします。歴史的な建物や文化が残る自然豊かな落ち着いた都市・メルボルンと、近代的な大都市・シドニーを楽しめるコースとなっています。是非、ご家族お誘いあわせのうえご参加いただき、コロナ禍で旅行が制限され会えなかった友と、そしてまだ会ったことのない世界のロータリアンと、ロータリーの絆を深めましょう。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

- ◎ 設定人数 : 20名様
- ◎ 申込締切 : 2023年1月31日（火）
- ◎ 旅行費用 : お一人様 400,000円

【 利用予定航空会社 】

国際線及びオーストラリア国内 : カンタス航空 日本国内線 : 日本航空

【 利用予定ホテル 】

メルボルン : モーベンピック ホテル メルボルン オン スペンサー（予定）
メルボルン駅 正面で国際大会会場まで徒歩15分の位置にあるデラックスホテル
シドニー : ソフィテル シドニー ウェントワース（予定）
シドニーの中心街にあり象徴的な建造物として知られているデラックスホテル

< 旅行費用に含まれるもの >

- ・航空料金 カンタス航空、日本航空のエコノミークラス ※ 2022年9月現在、燃油費用が含まれています。
- ・宿泊料金 メルボルン 3泊 シドニー 1泊 朝食付き ※ 2名1室利用
- ・日程表の送迎費用 空港とホテルの送迎及び、団体行動中は係員がご案内いたします。

< 旅行費用に含まれないもの >

- ・空港利用料、その他諸税 約20,000円（2022年9月現在のものの変動があります）
- ・任意 / 国際大会登録料（各自）、北海道ナイト参加費（各自）、
オーストラリアETAS電子入国査証（入国必要条件）OP（オプションツアー：食事、観光）、
海外旅行保険、一人部屋希望者追加費用 100,000円

【 ご案内事項 】

- ・参加人数を20名様で旅行費用を算出させて頂きましたが、人数に満たない場合は変更になる場合がございます。また、お一人部屋、ベッドタイプのご希望は施設の事情によりご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

なお、御取消料は国際大会による現地施設の都合により、お申込み後からは旅行費用の10%がかかります。その後、御取消料はお取消し日により取消料率が変わります。（国際大会期間の為、規定が厳しいことをご理解願います）

【 お申込み・お問合せ 】 : (株)産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階
電話 : 011-271-5388 F A X 011-271-5621 担当 : 斉藤・矢田目

メルボルン国際大会 メルボルン・シドニー

旅行期間：2023年5月25日（木）～5月31日（水） 7日間

設定人数：20名様

	日付	発着地	時間	交通機関	旅行行程	朝食	昼食	夕食
1	5月25日	木	新千歳空港 発 17:00 羽田空港 着 18:40 羽田空港 発 21:30	JL518 QF80	日本航空にて羽田空港へ カンタス航空にてメルボルンへ (所要10時間30分 時差1時間)	-	-	機内
2	5月26日	金	メルボルン 着 09:00	送迎車	入国手続き後、送迎車でホテルへ ・メルボルン市内観光 (OP) メルボルン 泊	機内	-	-
3	5月27日	土			終日：自由行動 ・メルボルン国際会議場 ・国際大会受付 ・友愛の家 グランドオープン メルボルン 泊	○	-	-
4	5月28日	日			終日：自由行動 ・開会 本会議 ・2510地区 北海道ナイト ※ ザ・ホテルウインザー メルボルン 泊	○	-	-
5	5月29日	月	メルボルン 発 13:00 シドニー 着 14:25	送迎車 QF444 送迎車	ホテルより空港へ カンタス航空にてシドニーへ 到着後、空港よりホテルへ シドニー 泊	○	-	-
6	5月30日	火	シドニー 発 20:55	送迎車 QF25	終日：自由行動 ・シドニー市内観光 (OP) ホテルより空港へ カンタス航空にて羽田空港へ (所要10時間05分 時差1時間)	○	-	機内
7	5月31日	水	羽田空港 着 06:00 羽田空港 発 09:00 新千歳空港 着 10:35	JL507	日本航空にて千歳空港へ	機内	-	-

※ 2022年9月現在のスケジュールに基づき作成しております。大会事務局、航空会社、利用施設の都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。

2022年11月19日

国際ロータリー ソーン1A.2&3

地区ガバナー /地区メルボルン国際大会推進委員長/クラブ会長 各位

国際ロータリー理事

佐藤 芳郎

メルボルン国際大会日本人親善朝食会開催ご案内

謹啓、ご清祥のこととお慶び申し上げます。ロータリー活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国際ロータリー年次大会がオーストラリアの古都メルボルンにて2023年5月27日(土)から5月31日(水)まで開催されます。この素晴らしい国際大会の開会式が行われる2023年5月28日(日)に恒例の「日本人親善朝食会」を下記要領で開催いたします。国際ロータリーの長い歴史の中で初めての女性会長、ジェニファー・ジョーンズ会長のスピーチを予定しています。ジェニファー会長はカナダ・ウインザー市ご出身であり、神奈川県藤沢市と姉妹都市である関係で何度も日本を訪れておられ親しみを感じる方でございます。次年度のゴードン・マッキナリー会長エレクト(スコットランド)等VIPにもご出席要請をする予定です。皆様お誘い合わせの上、大勢のご参加をお待ち申し上げております。しかしながら会場の大きさに限界がありますので、先着順500名で締め切らせていただきます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

〈日 時〉 2023年5月28日(日) 開場・受付 午前 7:00
朝食会 午前 7:30~9:00

ジェニファーPI会長他、ご挨拶を予定しております。

〈会 場〉 ZINC AT FEDERATION SQUARE (ジンク フェデレーションスクエア内)
住所 Cnr Princes Walk & Russell St Ext Melbourne Vic 3000 Australia
TEL +61 3 8637 0333

〈会 費〉 お一人 9,000円

〈定 員〉 先着500名 (締切日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせて頂きます。)

参加ご希望の方は早めにお申し込み下さい。

〈ドレスコード〉 スマートカジュアル

〈締 切 日〉 2023年3月31日 申し込み開始は2022年11月24日から(R研究会以後)

※ キャンセル、返金につきましては2023年4月15日まで受け付けます。

なおそれ以後の返金はいたしかねますのでご了承下さい。

〈申し込み〉 下記アドレスでクラブ単位でまず参加人数をお申し込みください。

お申込みいただいたクラブに、振込方法、参加者氏名記入要請のメールを、後日配信致します。



<https://forms.gle/K4Ah7mXBNuTMJiXW8>

以下はメルボルンシティーガイドのビデオです。旅行の参考にして下さい。





朝食会場

佐藤芳郎国際ロータリー理事主催

日本人親善朝食会

～ 国際ロータリーの世界のリーダーと接するひととき ～

2023年5月28日(日)



朝食イメージ

より強い絆を ここメルボルンで深めよう!

7:00 開場・受付

7:30 開会

ジェニファー・ジョーンズ会長スピーチ
(予定)

9:00 閉会

申込書は別紙・先着順 **500**名まで

登録料 **9,000**円



佐藤 R1 理事

皆様にお会いするのが
楽しみです

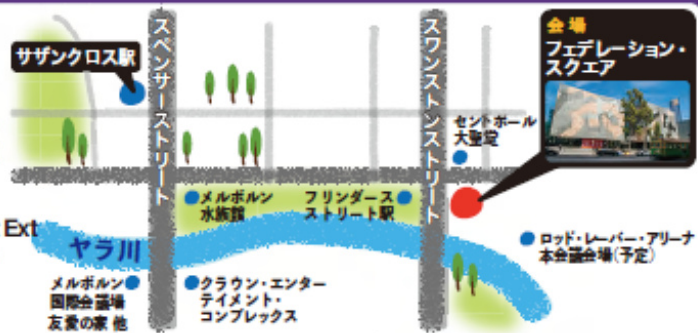


ジェニファー会長

会場周辺 Map

●会場
ZINC AT FEDERATION SQUARE
ジンク フェデレーションスクエア内

住所
Cnr Princes Walk & Russell St Ext
Melbourne Vic 3000 Australia





国際ロータリー第2510地区 新入会員セミナーのご案内

来たる4月22日から1泊2日で、地区主催の新入会員セミナーを開催します、2019年7月1日以降にロータリーに初めて加入された会員が対象者です。

セミナーの次第は以下の通りです。（変更の可能性もあります。）

4月22日(土) 場所 由仁町文化交流館（由仁町東栄87-1）

- 13:00 開講 座学でロータリーの概要を聞く
- 15:00 ロータリアンとしての経験談を聞く
- 16:20 ロータリーの活動について聞く
- 17:30 座学終了 ユニの湯に移動
- 18:30 ユニの湯にて 夕食会
夕食後 グループ活動

4月23日(日) 場所 ユニの湯（由仁町伏見122）

- 7:30 朝食 朝食後グループ活動
- 10:00 グループ活動の報告
- 11:00 クラブにおける社会奉仕活動の紹介
- 12:00 修了証授与後 閉講 解散

参加費用はお一人15,000円です。

申し込みは次項の申込書に記入の上、クラブ毎にまとめてクラブの幹事さんより実行委員会のメール（rid2510.ishimaru@gmail.com）に添付して送信して下さい。

施設の都合上40名を定員としており、申し込み先着順とさせていただきます。

国際ロータリー第2510地区
2022-2023年度
新入会員セミナー実行委員会
ガバナー 石丸 修太郎
実行委員長 河口 義憲

国際ロータリー第 2510 地区

2022-2023 年度

新入会員セミナー申込書

申込期限：2023 年 3 月 17 日

申込年月日 2023 年 月 日

クラブ名		会長名	
担当者名 (役職)	()	担当者 携帯番号	- -
担当者メール アドレス			
フリガナ		入会年月日	20 年 月 日 才
参加者名 (職業分類)	()	メールアドレス 携帯番号	_____ - -
フリガナ		入会年月日	20 年 月 日 才
参加者名 (職業分類)	()	メールアドレス 携帯番号	_____ - -
フリガナ		入会年月日	20 年 月 日 才
参加者名 (職業分類)	()	メールアドレス 携帯番号	_____ - -
フリガナ		入会年月日	20 年 月 日 才
参加者名 (職業分類)	()	メールアドレス 携帯番号	_____ - -

注) 年齢は 2023 年 4 月 1 日現在でお願いします。

申込完了後、参加費用の請求をクラブ担当者に送らせて頂きます。

RYLAセミナーのご案内

国際ロータリー 第2510地区

2022-23年度

第20回

RYLAセミナー

定員
40名
対象20~30歳

申込〆切 4/22(土)

国際ロータリー第2510地区によって実施される、
若者のためのリーダーシッププログラムです。

セミナー実施日

2023.5.12(金) ▶ 5.14(日)

主なセミナー内容

講話、グループディスカッション、野外レクリエーションなどを通して、
青少年のリーダーシップを養成。

スケジュール

1日目

13:00 開校式
14:00 オリエンテーション
15:00 講義
17:00 夕食
18:00 入浴休憩
19:00 講義
20:00 パスセッション・アイスブレイク



2日目

7:00 ラジオ体操
8:00 朝食
9:00 講義
11:00 昼食
13:00 思索の時間
14:00 レクリエーション
17:00 夕食・フォーラムテーマ発表
18:00 入浴休憩
19:00 カウンシルファイア
20:00 フォーラム発表準備

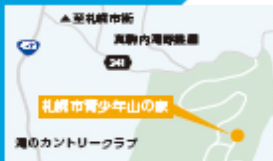
3日目

7:00 ラジオ体操
8:00 フォーラム準備
9:00 フォーラムテーマ発表・講評
11:00 講義
12:00 閉会式・写真撮影



場所

札幌市南区滝野247
札幌市青少年山の家
(滝野すずらん丘陵公園内)



Rotary
Rotary International
District 2510

【主催】国際ロータリー第2510地区RYLA委員会
【協力】札幌市青少年山の家
【お問い合わせ】第2510地区ガバナー事務所
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
TEL:011-207-2510 FAX:011-207-2512



国際ロータリー第2510地区 2022-23年度
第20回青少年指導者養成プログラム(RYLA)
RYLA参加申込書 [登録料:5,000円/人]

フリガナ				(西暦) 年 月 日生:	歳
氏名			男・女	問合せ先	ロータリークラブ
住所	〒 (書類送付先に○: 自宅・勤務先・その他) (郵便物が到着する住所を記入)				
緊急連絡先TEL		続柄	携帯電話		
メールアドレス① ②Zoom対応アドレス					
勤務先 or 学校名					
RYLA参加経験	あり(第 回、年)・なし				
所属団体	一般団体名				
	ローターアクト		ローターアクトクラブ	年加入	
	インターアクト経験		インターアクトクラブ	年加入	
※食物アレルギーのある方は、詳細にご記入ください。					
※選考の際の参考といたしますので、応募動機をご記入願います。					

※ご記入いただいた情報はRYLA関連の連絡等のみに使用し、その他の目的に使用されることはありません。

※推薦ロータリークラブは、会長の承認署名後、第2510地区ガバナー事務所へFAXにて、お申込み下さい。

FAX送信先 011-207-2512 [申込メ切:4月22日]

※後日、参加受付書・参加ご案内書類等を参加者ご本人に郵送いたします。

上記の者を、国際ロータリー第2510地区第20回RYLA受講生に推薦いたします。

年 月 日

クラブ名

ロータリークラブ

会長名(署名)

携帯電話番号

RYLA委員会記入欄

RC記入

受付 年 月 日

受付番号

受講料

ガバナー四方山話

第8回 観光地の思い出

スペインは観光でも有名です。宗教行事ではありますが、サンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼の道は多くの外国からの巡礼者が歩きます。このサンティアゴ・デ・コンポステーラはローマとエルサレムと並んでキリスト教の三大巡礼地となっていますが、スタートはフランス中部にある教会です。ここから、国境のピネレー山脈を越えて延々とスペイン国内を横断して歩くだけでも大変な労力です。

自分はついにこの巡礼には参加することはありませんでしたが、マドリッド近郊にあるセゴビアという小さな町はナバセラダという峠を越えて行くのですが、車で2時間くらいで、こじんまりした街でディズニーランドにあるお城のモデルとされるお城があったり、ローマの水道橋があったりして、とても風情のあるところで何度も訪れました。

この町の名物が子豚の丸焼きで、レストランに行き注文すると、4人に一匹の子豚がそのままローストされて出されるのですが、半身の半分が一人前で、最期に頭が残り、ウェイターがその残った頭を、4人の中で一番食いしん坊のところに置いていきます。なぜか、自分は何度も頭も頂いた記憶があります。フィリピンや他の東南アジアでも子豚の丸焼きを出しますが、大きさが大きくて何十人という大勢用ですので、風情がかなり違います。

ナバセラダという峠は標高2,000mあって冬はスキーも出来るのですが、峠の道路沿いにアサドールという石窯でお肉をローストして食べさせるお店があり、子山羊や子羊を頂くことが出来ます。夏のお天気の良い日には、素晴らしい眺望を楽しみながらとてもリッチな気分で食事をする事が出来ます。

マドリッドから南に1時間半くらい車で走るとトレドという町がありますが、スペインの歴史には何度も出てくるところで、町全体が世界遺産となっています。この街にはパラドールという国民宿舎と言わなければならない宿泊所があるのですが、近年建てられた綺麗な建物です。でも、このパラドールという施設はもともと史跡の建物を改修した国営の宿泊施設で、私が居た頃は全国に30くらいしかありませんでしたが、今では90ヶ所にも増えていて、高級宿泊所となっているとのことでした。

昔のお城や領主の館などを改修したものが多く、私が泊まった中では、グラナダのアルハンブラ宮殿の敷地内にある昔の修道院を改修したものは、昔のままの風情があるパラドールで、実にスペインらしくて味わい深いところでした。その他、スペインの各地にあるパラドールの10ヶ所くらい泊まりましたが、どれもがその地の歴史を感じさせる素敵なお店でした。

また、スペインのパラドールと同様な形態で、ポルトガルにはポウサダというやはり国営の宿泊所があり、これもお城や領主の館などを改修したのですが、スペインのそれより素朴なお店が多いような気がします。機会があったら泊まってみることを是非お勧めします。ポルトガルではイワシの塩焼きが美味しく、ビノベルデと呼ばれる冷えた白ワインによく合います。リスボン市内にある公園には屋台の焼き台でイワシを焼いて食べさせるところがあり、地元に住む日本人は醤油持参で通っていると伺いました。

ガバナー補佐自分を語る

「ロータリークラブと私」

国際ローター第2510地区
第12グループガバナー補佐

田辺 真樹 (白老RC)

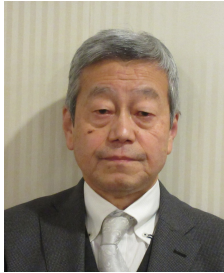


2022年3月開催のエレクトセミナーでガバナー補佐予定者が自己紹介をする機会があった。皆さんは在籍年数を含め上手に挨拶をした。私は突然のこともあり在籍15年と自己紹介をしたが後日確認をしたところ19年であった。私は大学を卒業後地元に戻りサラリーマンをしていたが中学高校の同級生に誘われるまま青年会議所に入会し17年間週に何度も夜の経済循環に貢献した。ローカルの町であるため青年会議所卒業と同時にロータリークラブとライオンズクラブから入会のお誘いを受ける。何せ両クラブの主要な役職に青年会議所の先輩が大勢いるからだ。当時私の父はロータリークラブに在籍をしていた。父はロータリークラブが大好きで何年も100%出席をしていたので記念のバッジが今私の手元に数多く残っている。そんな父がクラブを退会することとなると長年お世話になっている先輩が会長エレクトだったこともあり有無もなく入会することとなったがそれが19年前であった。入会后知ったことだが祖父もチャーターメンバーであった。祖父は私に入会を勧めて頂いた先輩の結婚披露宴で新郎である先輩の事には一切触れず1時間30分挨拶をしてしまい、残りの時間で進行することが大変だったそうだ。私がロータリークラブに入会することもどこかでレールが敷かれていたのかもと思う。私にはロータリークラブが凄く心地良き空間に感じる。毎週笑顔で食事をともにし夜間の例会ではお酒を片手に近況について語り合う、会員には年配の方もいれば入ったばかりの若いメンバーもおり様々なものの見方に刺激を受け合う、仕事に戻るとそれぞれリーダーの立場で気を張っているメンバーがほんの少しだけホッとできる時間を共有するそんなひと時がとても大切な時間とを感じる。

今年度はガバナーのメッセンジャー役としてグループ内のクラブを訪問させて頂く機会に恵まれ私にとっては大変貴重な一年となった。同じロータリークラブといっても各クラブ様々でそれぞれ雰囲気が違う。会長・幹事さんのお人柄や年齢も様々だ。所属クラブとは違い初回の訪問時は緊張したが2度3度と回数を重ねると素敵なおひと時と感じられるようになってきた。地区の会議においても初めは緊張していたが回を重ねると段々楽しい時間であると感じられるようになってきた。それはグループという枠を超え出会った人々が素晴らしい仲間であったからに他ならないからであると思う。これからも同じ地区・グループ内の出会いを大切しながら皆さんとともにロータリークラブという「素敵なおひと時」を共有していきたいと思う。

新会員のご紹介

敬称略



札幌手稲RC
岸本 幸雄
令和5年1月6日
総合建築



札幌手稲RC
根岸 優介
令和5年1月6日
弁護士



苫小牧RC
梶川 弘樹
令和5年1月6日
商業デザイン



千歳セントラルRC
藤本 裕之
令和5年1月10日
土木工事業

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



苫小牧北RC
山本 雅昭 会員
2022年12月20日逝去（享年75歳）

【ロータリー歴】

1987年2月24日 入会
2001-2002年 第33代 会長
2015-2016年 第47代 会長
2003-2004年 第2510地区第12グループ ガバナー補佐

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



函館RC
玉田 正吾 会員
2022年12月27日逝去（享年49歳）

【ロータリー歴】

2006年1月26日 入会
2017-18年度 クラブ幹事

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

月信委員会からのお知らせ

従来ガバナー月信に掲載されておりました以下の記事は、今年度は地区ホームページに掲載をしております。地区ホームページ (<http://rid2510.org>) をご参照ください。

【ホームページ掲載記事】

- ・ガバナー補佐名簿
- ・ガバナー公式訪問日程
- ・地区カレンダー
- ・ガバナー事務所スタッフ・担当
- ・地区予算
- ・地区クラブ会長・幹事名簿
- ・地区組織図
- ・ハイライトよねやま
- ・コーディネーターNEWS
- ・ロータリー定期報告関係 等



RI 2510地区ホームページ
QRコード

表紙の解説（第2グループ）

石狩川と空知川

流域面積が日本第2位、全長が第3位の大雪山系を水源とする石狩川と、同じく大雪山系を水源とし、石狩川の支流の中で最も長く、広い流域面積を持つ空知川それぞれの流域に第2グループ芦別市、赤平市、砂川市、滝川市があります。

芦別市、赤平市の市街地を沿って流れる空知川は赤平市西部で谷を抜け、石狩平野へ出ると滝川市と砂川市の市境を流れ、石狩川に合流します。また、合流地点南部に位置する砂川遊水地は、石狩川の洪水を防ぐため一時的に水を貯留し、下流の水位を下げ、安全に水を流す役割を持っています。

それぞれの町は自然の中からさまざまな恵みを受けながらあゆみ続けてきました。北海道開拓の時代から開墾されてきた流域は、豊かな穀倉地帯を形成し、農業は地域の重要な産業となっています。また、かつては空知地域の広範囲で国内経済の基盤を支えた石炭の町としても栄えました。

明治23年1月に屯田開拓兵村として滝川村が開村したのに続き、同年8月に隣接した奈江村（現：砂川市）が開村し、開発の進展に伴う分村あるいは合併を経て、石狩川左岸に今日の芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町が形成されました。また、石狩川右岸には、明治23年1月に奈良県吉野郡十津川村の集団移住により開拓された新十津川村が設置され、次いで、同25年2月に華族組合農場として開拓された雨竜村が開村、同32年5月に浦臼村が月形村から分村し、浦臼町、新十津川町、雨竜町3町が形成され、5市5町による現在の中空知圏域が構成されています。

このように、二つの川やその支流は私たちに豊かな潤いを与えてくれ人々は深く関わって暮らしてきました。

石狩川の河川敷に整備されている「たきかわスカイパーク」では、4月下旬～11月中旬のフライト期間、インストラクター操縦のもとグライダーで上空500mから日本海や十勝連峰、空気の澄んだ時には遠く利尻富士も見渡せ、北海道の雄大な大地を楽しむことができます。



雨竜沼湿原上空



砂川遊水地上空



滝川上空からの石狩川・空知川

Rotary  **District2510**